

平成24年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

1 調査の概要

○実施日 平成24年4月17日（火）

○調査内容

- ・小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒を対象。
- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
主として「知識」に関する問題
主として「活用」に関する問題
 - ・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
 - ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題
 - ・理科：主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○参加状況（抽出対象校）

- ・全国で抽出対象校として公立小学校5140校（24.7%）、公立中学校4296校（43.1%）が参加。
- ・本県では、抽出対象校として公立小学校94校（45.6%）、公立中学校67校（64.4%）が参加。

2 教科に関する調査結果

上段：公立学校の平均正答数

中段：平均正答率の95%信頼区間(%)

下段：平均正答率(%)（上段を百分率で示したもの）

| | 国語A | | | | 国語B | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 平成24年度 | | 平成22年度 | | 平成24年度 | | 平成22年度 | |
| | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 |
| 小学校 | 13.9/17 | 14.0/17 | 12.5/15 | 12.6/15 | 6.1/11 | 6.3/11 | 7.8/10 | 7.9/10 |
| | 81.4-81.7 | 81.9-83.3 | 83.2-83.5 | 83.3-84.8 | 55.4-55.8 | 55.8-58.0 | 77.7-78.0 | 77.9-79.9 |
| | 81.8 | 82.4 | 83.3 | 84.0 | 55.5 | 57.3 | 78.0 | 79.0 |
| 中学校 | 24.0/32 | 24.5/32 | 26.3/35 | 26.5/35 | 5.7/9 | 5.7/9 | 6.5/10 | 6.5/10 |
| | 75.0-75.2 | 75.9-77.5 | 75.0-75.2 | 75.1-76.2 | 63.2-63.4 | 62.0-63.8 | 65.1-65.5 | 64.3-65.7 |
| | 75.0 | 76.6 | 75.1 | 75.7 | 63.3 | 63.3 | 65.0 | 65.0 |

| | 算数・数学A | | | | 算数・数学B | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 平成24年度 | | 平成22年度 | | 平成24年度 | | 平成22年度 | |
| | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 | 全国 | 奈良県 |
| 小学校 | 13.9/19 | 14.3/19 | 14.1/19 | 14.2/19 | 7.7/13 | 7.8/13 | 5.9/12 | 6.0/12 |
| | 73.1-73.5 | 74.6-76.4 | 74.0-74.4 | 73.8-75.8 | 58.7-59.1 | 58.9-61.1 | 49.1-49.5 | 49.1-51.1 |
| | 73.2 | 75.3 | 74.2 | 74.7 | 59.2 | 60.0 | 49.2 | 50.0 |
| 中学校 | 22.4/36 | 22.9/36 | 23.3/36 | 24.1/36 | 7.4/15 | 7.6/15 | 6.1/14 | 6.3/14 |
| | 62.0-62.3 | 62.3-64.7 | 64.4-64.8 | 65.9-67.8 | 49.2-49.5 | 49.0-51.8 | 43.1-43.5 | 44.3-45.4 |
| | 62.2 | 63.6 | 64.7 | 66.9 | 49.3 | 50.7 | 43.6 | 45.0 |

| | 理 科 | |
|-----|-----------|-----------|
| | 平成24年度 | |
| | 全国 | 奈良県 |
| 小学校 | 14.6/24 | 14.8/24 |
| | 60.8-61.1 | 60.8-62.6 |
| | 60.8 | 61.7 |
| 中学校 | 13.3/26 | 13.3/26 |
| | 50.9-51.1 | 50.2-52.0 |
| | 51.2 | 51.2 |

本県は、主として「知識」に関する問題（問題A）では、全ての調査において全国平均正答率を0.6～2.1ポイント上回っている。主として「活用」に関する問題（問題B）については、中学校国語で全国平均正答率と同じであるが、それ以外については全国平均正答率を0.8～1.8ポイント上回っている。

また、本年度初めて実施された理科について、小学校では、全国平均正答率を0.9ポイント上回り、中学校では、全国平均正答率と同じである。

3 文部科学省による分析（「平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」平成24年8月より）

文部科学省によると、記述式問題を中心に、次のような課題が見られると分析している。

【国語】

- 小学校 ・ グラフや表に含まれる情報を正確に読み取った上で、話したり書いたりすること
 - ・ 話したり聞いたり、書いたり、読んだりする目的や意図に応じ、複数の情報を関係付けた上で、条件に合わせながら自分の考えをまとめて記述すること
- 中学校 ・ 具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うこと
 - ・ 表現した内容を客観的に見直して、よりよくすること

【算数・数学】

- 小学校 ・ 算数の用語を用いて事象の関係を理解したり、適切に表現したりすること
 - ・ 方法や理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述すること
- 中学校 ・ 数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりすること
 - ・ 扇形の面積や多角形の内角の和、正多角形の外角の性質など、図形の内容を関数の視点から動的な関係として捉えること

【理科】

- 小学校 ・ 観察・実験の結果を整理し考察すること
 - ・ 科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりすること
- 中学校 ・ 観察・実験などにおいて、定量的な取り扱いをすること
 - ・ 日常生活や社会の特定の場面において、理科に関する基礎的・基本的な知識や技能を活用すること
 - ・ 基礎的・基本的な知識や技能を活用して、観察・実験の結果などを分析し解釈すること
 - ・ 基礎的・基本的な知識や技能を活用して、仮説を検証するための観察・実験を計画すること
 - ・ 基礎的・基本的な知識を活用して、根拠を基に、他者の計画や考察を検討し改善すること